

緑の相談コーナーだより

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

アマモ

アマモは茎の部分をかじるとほんのり甘さを感じることから、甘藻（アマモ）という名前がついたそうです。また、「リュウグウノオトヒメノモトユイノキリハズシ（竜宮の乙姫の元結の切りはずし）」という、植物で最も長い和名もついています。元結（もとゆい）とは、髪を結び束ねるために使用されるひものことで岸辺に打ち上げられた葉の様子を、竜宮城の乙姫様が結っていた元結を切り離れたものに例えて名付けられたといわれています。北半球の温帯地方から亜熱帯地方にかけて水深 1m～数mの沿岸砂泥地（えんがんさでいち）に生息しています。名前に藻とついています但し藻類ではなく、海中に生える種子植物です。北海道では厚岸周辺に広いアマモ場があり、とくに厚岸湖ではアマモが優占し、秋から冬にかけては数千羽のオオハクチョウが訪れ、主にアマモを食べて生活します。アマモ場はハクチョウの餌だけではなくホッカイシマエビや多くの魚介類の生息場にもなっています。（いとう）

クリスマスローズ

クリスマスローズの原生地は、東欧を中心とするヨーロッパ。本来の名前は学名（属名）「ヘレボルス」欧米ではヘレボルス・ニゲルだけがクリスマスローズと呼ばれています。花弁のように見えるのは萼片、時間とともに色褪せますが花の形は保ち続け、花の中央の子房が膨らみ種が付きます。常緑性なのでリーフだけでも美しい品種も観葉植物的に庭植えで楽しめます。北国での管理は地植えが可能なのと日照時間との関係で半日日陰か大きな植物の影ができる程度の場所が良いでしょう。個人育種家さんの交配種もオリジナリティ溢れる品種群もこれから店頭に並びます。春までの間に色々妄想するのも北国ガーデナーの楽しみですね。（たかはし）

今月の便り



人が参るとかいてニンジン？

人が参ると書いてニンジンと読みますがこの漢字が不思議だと思いませんか。もともと日本では朝鮮人参のことを人参と言っていたそうです。朝鮮人参の枝分かれした根の形が人の姿を思わせることから人参の漢字を使ったようです。朝鮮人参は6～7世紀に朝鮮半島経由で日本に入ってきたようで、今、一般に食べられている野菜の人参が日本に入ってきたのはそれから千年も経った16世紀頃と言われています。根のかたちが朝鮮人参、葉がセリ似ていることから「セリニンジン」、「菜ニンジン」などと呼ばれていたようです。17世紀頃にはおいしくて長持ちすることから野菜の人参が全国に広まり、野菜の人参が人参と呼ばれ、漢方薬の人参が朝鮮人参と呼ばれるようになりました。（ながやす）

*「今月の便り」次ページへつづく⇒

土壌の中の多様な生き物

植物が育つ土壌は岩石の風化物と有機物でできています。その中には土壌動物や細菌、菌類、藻類、原生動物などの微生物が暮らしています。土壌がそれらの生き物達が住みやすい団粒構造になっていると植物は良く育ちます。生き物の活動が土を作り、植物の生育に必要な栄養素を取り込みやすい形に変えるからです。なるべく多くの種類の土壌動物や微生物達が住む、団粒構造の土を管理維持することが健康な作物を育てる王道でしょう。畑を耕しすぎると団粒は壊れるので、家庭菜園では耕すのはどうぞほどほどに。多くの生き物が暮らせる豊かな土壌を目指しましょう。ところで植物の生育を助ける土壌の微生物達は、けして近くにいる別種を絶滅させるようなことは無いといえます。弱肉強食の競争社会ではないのです。そのほどほど感を人間社会も見習うべきなのではと思います。(きのした)



【室内公園「色彩館」からのお願い】 当館では植物の引き取りを一切行っておりません。あらかじめご了承ください。処分してしまうのが心痛いのであれば、そうならないように樹形や樹高、特性などを考え計画的かつ責任を持って購入・栽培してください。育て方で分からないことは、当館の緑の相談コーナーへお気軽にお問い合わせください。

緑の相談コーナー Q & A

Q ニンジンが割れるのはなぜ…？

A 根が急激に肥大すると割れやすくなります。肥大期に入った後の追肥や、土壌の過湿は根割れが多くなります。また発芽不良を起こし株間が広くなりすぎた場合にも生じますので、土壌の管理や栽培スケジュール等に注意が必要です。また、タネまきの直前に肥料を施した為に根の先端が肥料で焼けてなることがあります。固い土のかたまりがある畑で栽培した場合や、水はけの悪い畑にもよく発生します。肥料は事前に施し、よく耕してからタネをまきましょう。過湿になりやすい畑では通常より高めうねを作ると良いです。収穫の遅れも割れる原因になりますので収穫時期を逃さないようにしましょう。収穫時期が近づいてきたら天気予報をチェックして、大雨や雨が続くようであれば、前日に抜いてしまうのも一つの手です。



ひとつき ひとバラ



文： 曾 根 浩 太
(いわみざわ公園バラ園)



第百十回

フロリバンダローズ

ノヴァーリス

Novalis

作出国：ドイツ

作者：Tim Hermann Kordes

作出年：2010年

ハーディネスゾーン：Z5

四季咲き

交雑：名無しの実生 × 名無しの実生

1月中はプラス気温になったり、岩見沢に関しては雪が連続しては降らないということもあり、暖冬というシーズン前の予報的中を感じています。雪が降らないというのは除雪の面では身体が楽ですが、越冬しているバラにとっては不安で、まだまだ積雪量は物足りないという感想です。

今回は最強の青バラと言われているノヴァーリスを紹介いたします。花弁は藤色で先が軽く剣弁のようにとんがっており、咲き始めはカップで徐々に開いていくような花形をしています。フロリバンダではありますが房咲き性は強くなく、花の大きさも大き目の中大輪になります。青バラというと弱い印象を持たれる方も多いかもかもしれませんが、近年では強健性のある青バラも多く作出されてきており、この品種はその中でも最初の方にできたものと認識しています。耐病性、耐寒性、耐暑性全てが強く、耐病性に関しては無農薬でも秋まで葉をほとんど落とすことなく生育でき、耐寒性はコモをかけなくても岩見沢では全く問題ないほどの強さです。当園のテストガーデンで3年間、無施肥、無農薬、コモかけ無し

の冬囲いで130cm程度まで成長した実績があります。耐暑性は当園では測れませんが、九州でも植栽されているといったことを考えると強いということがわかりますね。ADR賞の受賞花ですので安心して育てられる品種です。樹高は高く150cm程度になりますので花壇の中盤から奥側に植えるとよいと思います。剪定は割りばし程度で切り戻しをしていきます。病気にとっても強いのでそこまで透かすことを意識しなくても大丈夫です。

ノヴァーリスの名前はドイツロマン主義派の詩人の名前(ペンネーム)からとられているみたいです。ラテン語で新開墾地という意味らしく、中々に尖った人物なのかなと想像してしまいますね。交雑はどちらも名無しの実生ということでした。名前が付いた品種同士を掛け合わせるだけではなく、品種交配を繰り返すとゴールまでの間で売りに出さない品種も出来てきます。ノヴァーリスの親は作る過程において、通過点ということで名前を付けられなかったのでしょうか。ノヴァーリスの祖父母はどのバラなのか、とても気になりますね。

ワークショップのご案内

色彩館のミモザを使ったスワッグ作り

2月17日(土) 13:00～15:00

定員 10名

材料費 2,000円

持ち物 花ばさみ、ペンチ

お申し込み 電話 (0126) 25-6111 色彩館 まで



今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



●2月11日(日) 10:00～12:00 折り紙でバラをつくろう 中級

料金:無料 定員:15名 講師:バラ園スタッフ

持ち物:おりがみ 筆記用具

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話:0126-25-6111 ホームページ:<https://iwamizawa-park.com/>

※資料ご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日3～4日位前までに
お申込みをお願いいたします。

※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しく下さい。